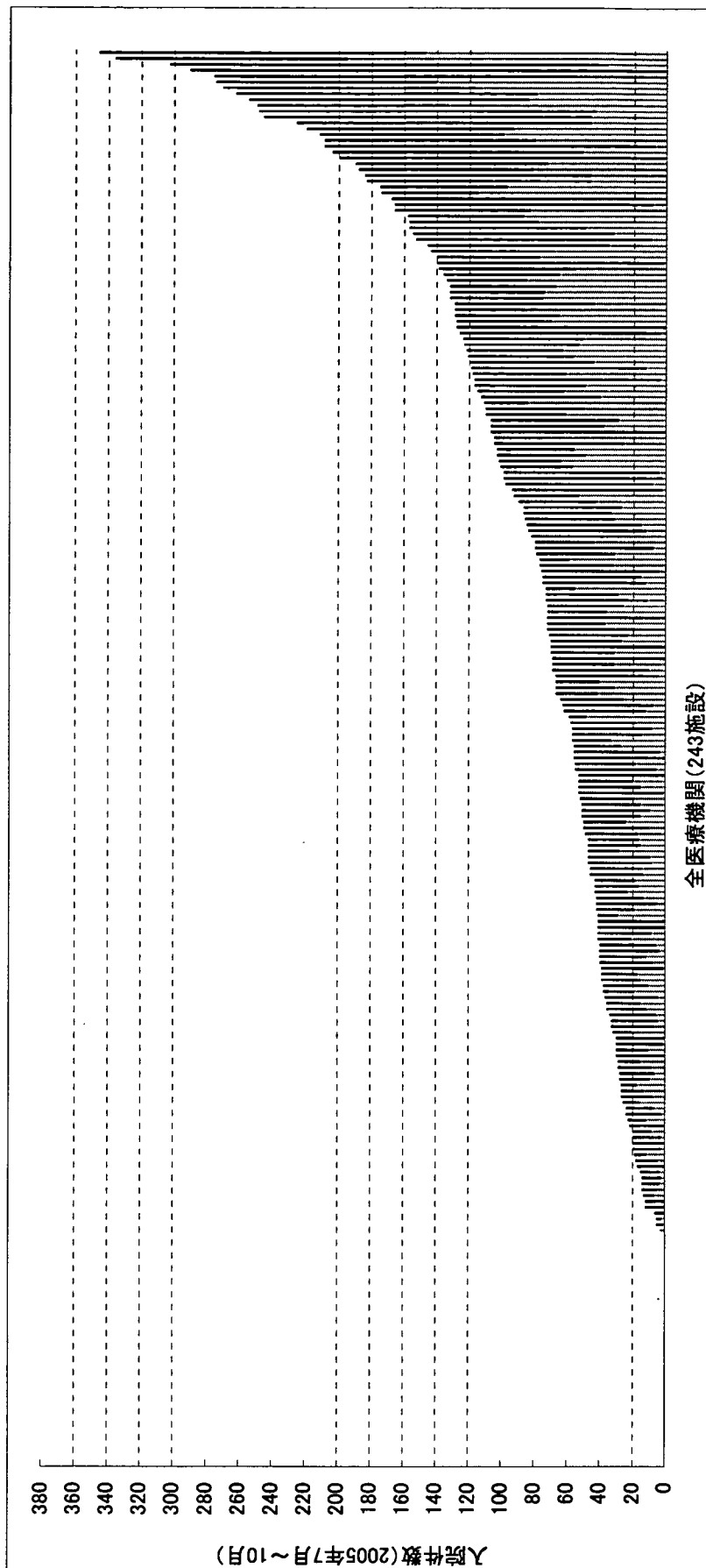


白内障、水晶体の疾患の手術施行例の入院件数

解析対象DPC番号の範囲		パーセンタイル												
分類名	解析内容	入院件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95	
白内障、水晶体の疾患	手術が施行された件例	18,360	76	72	0	346	0	0	24	56	111	173	225	
	片側手術の件数	12,266	50	52	0	290	0	0	16	37	69	122	158	
	両側手術の件数	6,094	25	32	0	195	0	0	1	12	41	70	84	



【図の説明】

■ : 両側手術の件数 [DPC14桁目:1]

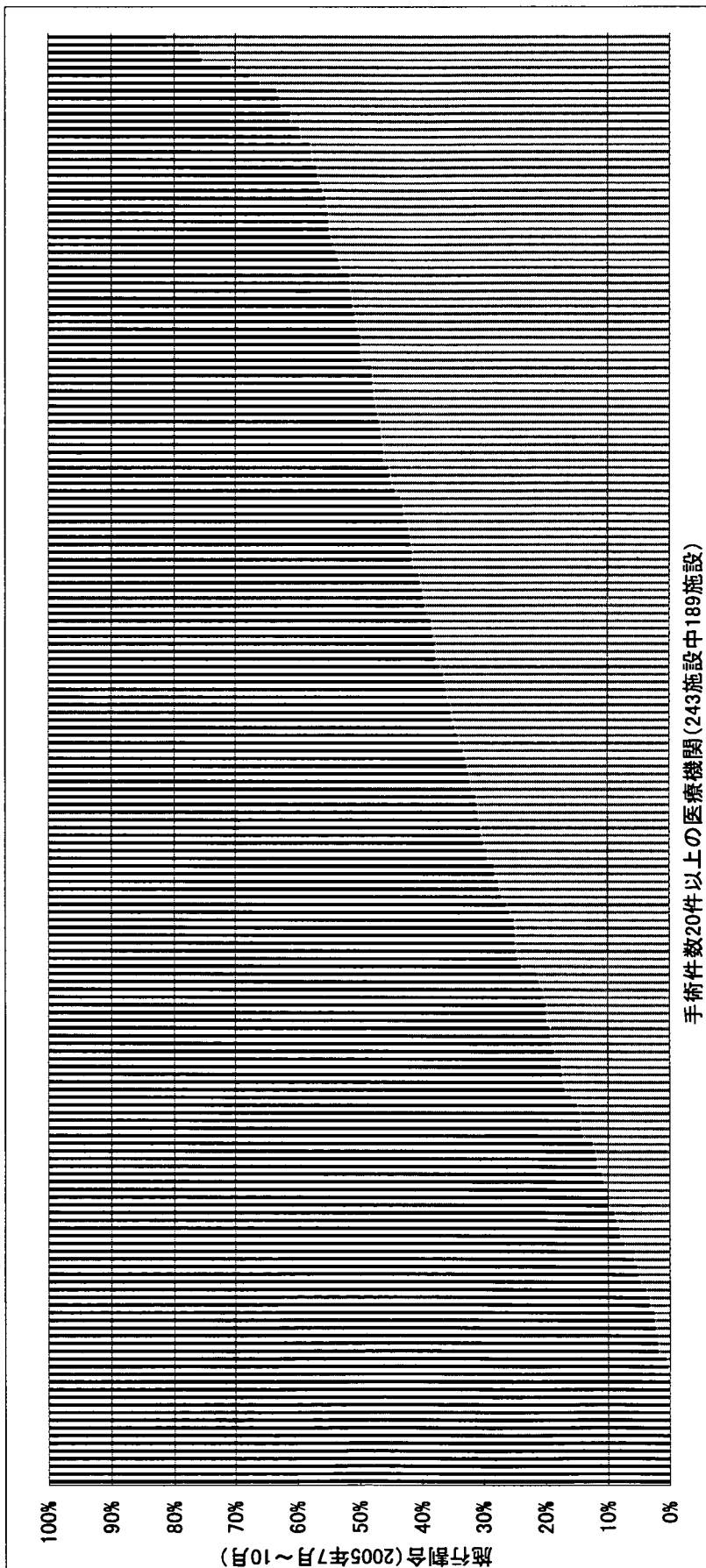
■ : 片側手術の件数 [DPC14桁目:0]

【コメント】

- ・白内障、水晶体の疾患の件数は、MDC 02の全入院件数の約54%を占めていた。
- ・手術件数1件以上の医療機関は203施設(全体の84%)において見られた。
- ・白内障、水晶体の疾患の手術件数としては、両側よりも片側が多く行なわれていた。

白内障、水晶体の疾患の治療内訳(N = 18,193)

分類名	解析対象DPC番号の範囲	解析内容	パーセンタイル										
			平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
白内障、水晶体の疾患	0201103	片側手術が施行された症例	70%	21%	19%	100%	38%	44%	53%	68%	88%	100%	100%
		両側手術が施行された症例	30%	21%	0%	81%	0%	0%	12%	32%	47%	56%	62%



【図の説明】

手術件数20件以上の施設を対象とした

■ : 両側手術の施行割合 [DPC14桁目:1]

■ : 片側手術の施行割合 [DPC14桁目:0]

【コメント】

- ・両側手術の手術件数は全手術件数の3割を占めており、片側手術は7割を占めていた。
- ・白内障、水晶体の疾患の手術件数と両側・方側の割合に、相関は見られなかった。

白内障、水晶体の疾患に対し片側手術を行なった症例における平均在院日数(N = 11,505)

分類名	解析内容	パーセンタイル										
		平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
白内障、水晶体の疾患	在院日数	4.5	1.5	1.1	9.0	2.1	2.6	3.4	4.5	5.4	6.4	7.4
	術後在院日数	3.6	1.2	1.1	7.1	1.9	2.1	2.8	3.4	4.2	5.2	5.7
	術前在院日数	1.0	0.5	0.0	3.2	0.0	0.1	0.8	1.0	1.2	1.5	1.8



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数20件以上の施設を解析対象とした。

■ : 片側手術が施行された症例の術前在院日数

■ : 片側手術が施行された症例の術後在院日数

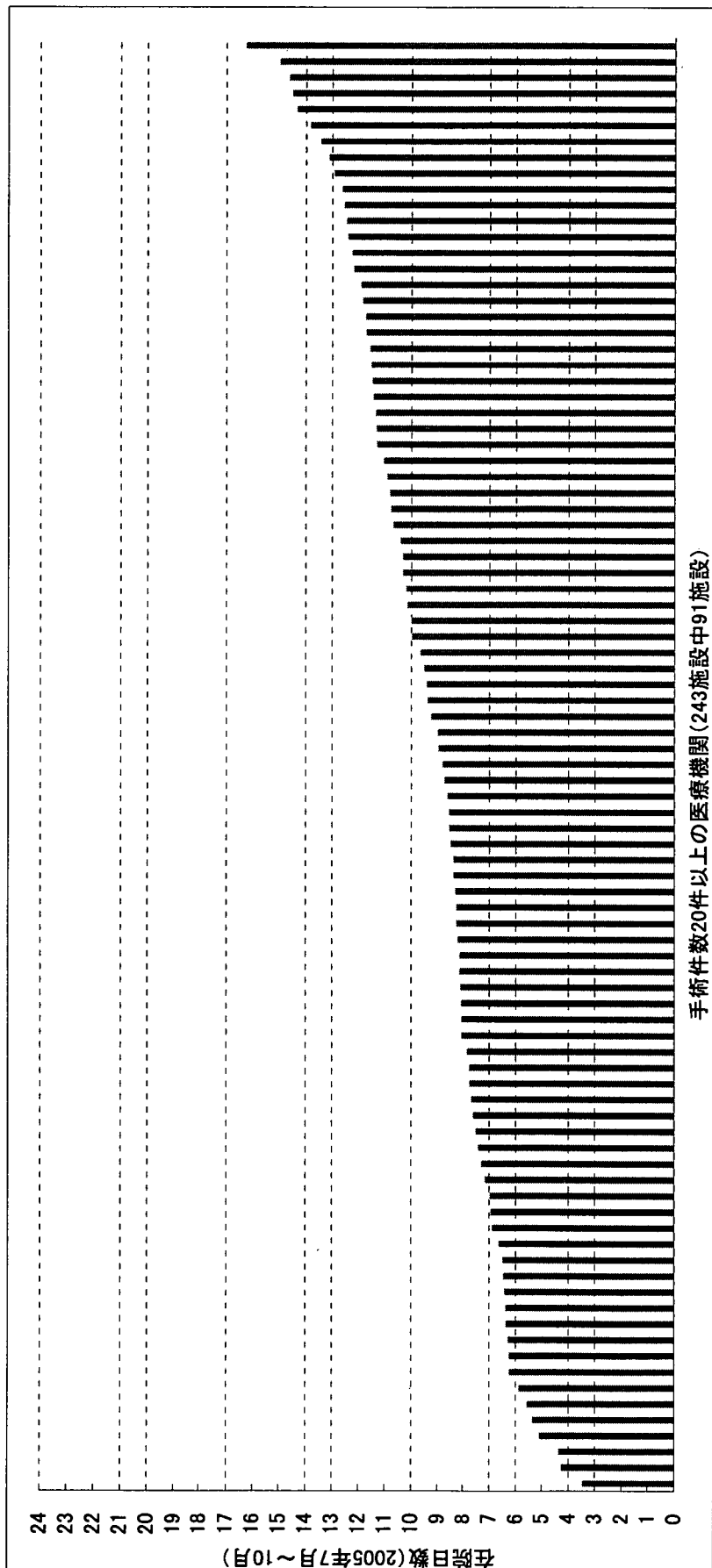
【コメント】

・平均在院日数は、最も長い施設では最も短い施設の9倍であった。

・片側手術が施行された症例20例以上の医療施設には、平均術前日数が1日未満の施設(手術件数:20~289件)が、70施設見られた。

白内障、水晶体の疾患に対し両側手術を行なった症例における平均在院日数(N = 5,129)

解析対象DPC番号の範囲		パーセンタイル										
分類名	解析内容	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
白内障、水晶体の疾患	在院日数	9.4	2.7	3.5	16.3	5.5	6.3	7.5	8.8	11.4	12.6	14.1



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数20件以上の施設を解析対象とした。

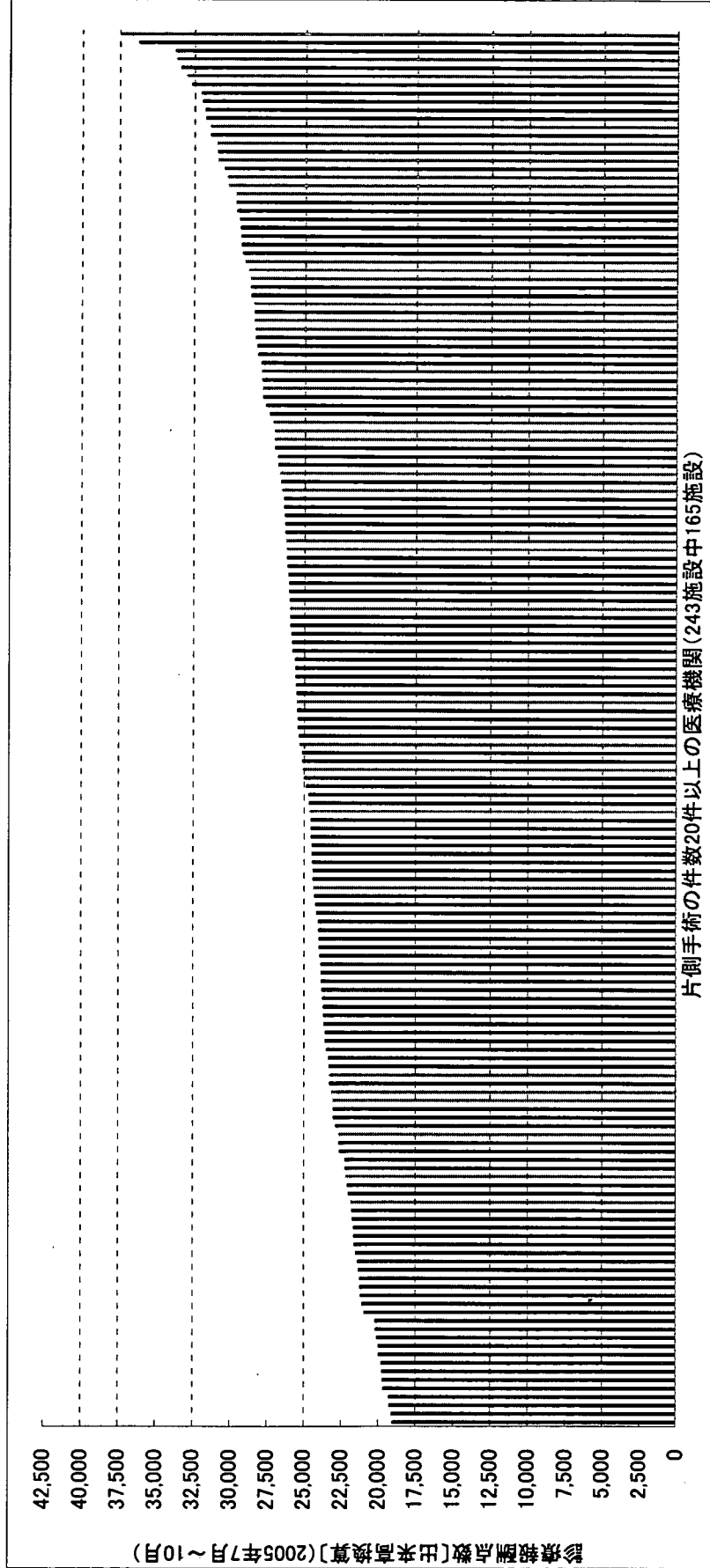
■ : 両側手術が施行された症例の在院日数

【コメント】

・片側手術よりも両側手術のほうが、平均在院日数が長くなっていった。

白内障、水晶体の疾患に対し片側手術を施行した症例における一入院当たり診療報酬点数〔出来高換算〕平均値 (N = 11,179)

分類名	解析内容	平均値	標準偏差	最小値	最大値	パーセンタイル									
						5	10	25	50	75	90	95			
白内障、水晶体の疾患／片側手術施行症例	診療報酬点数〔出来高換算〕	25,611	3,597	19,051	37,478	20,000	21,252	23,330	25,441	27,927	30,439	31,937			
	特定機能病院(36施設)〔出来高換算総点数〕	27,511	3,445	21,893	37,478	22,558	23,117	25,286	27,132	29,243	31,224	33,228			
	その他の参加病院(129施設)〔出来高換算の総点数〕	25,081	3,469	19,051	36,254	19,775	20,797	22,893	24,564	26,662	29,502	31,775			



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数20件以上の施設を解析対象とした。単位は診療報酬点数である。

■：特定機能病院

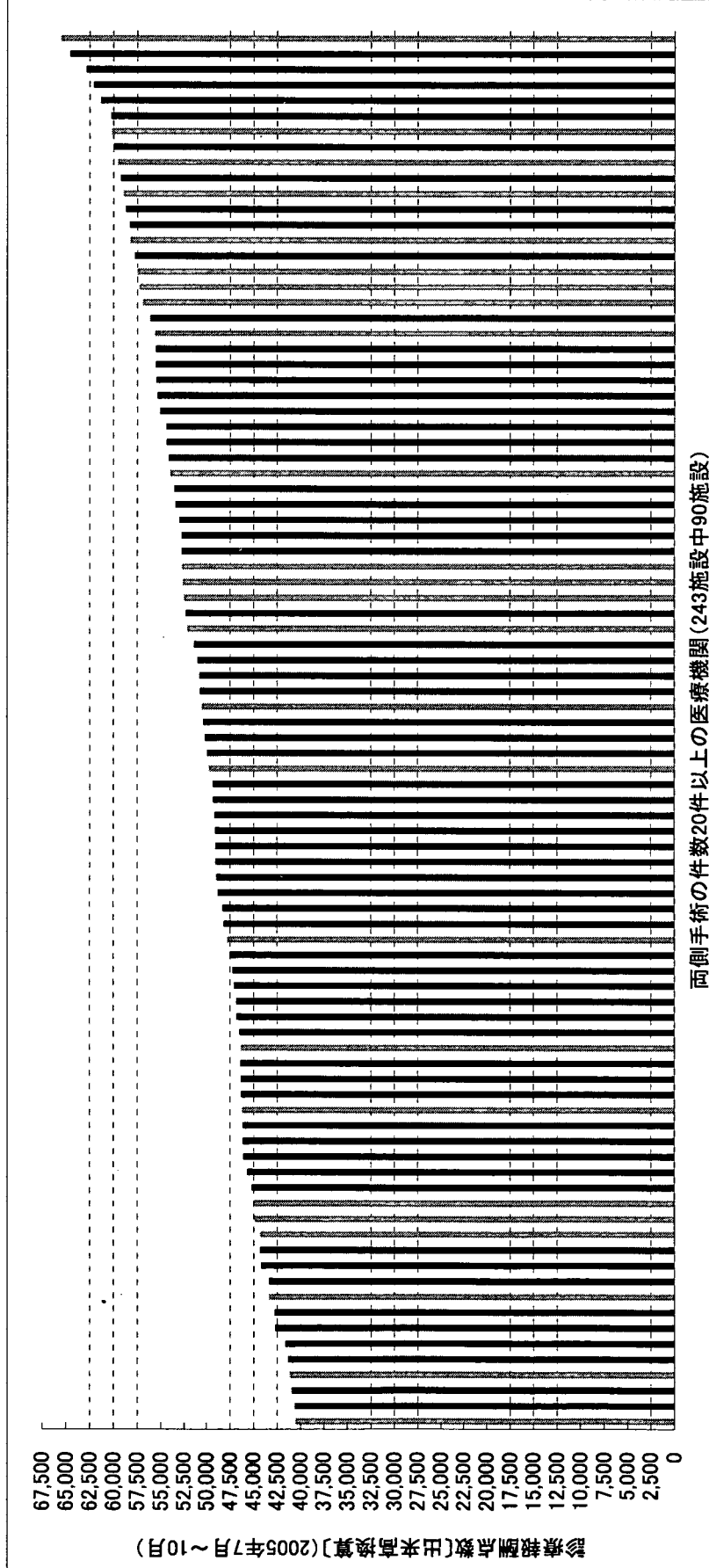
■：その他の参加病院

【コメント】

- ・片側手術の診療報酬点数〔出来高換算〕は、特定機能病院のほうが高い傾向にあった。
- ・平均在院日数は施設間で9倍の差があったが、診療報酬点数〔出来高換算〕では2倍程度の差しか見られなかった。

白内障、水晶体の疾患に対し両側手術を施行した症例における一入院当たり診療報酬点数〔出来高換算〕平均値(N = 4,999)

分類名	解析対象DPCO番号の範囲	解析内容	平均値	標準偏差	最小値	最大値	パーセンタイル									
							5	10	25	50	75	90	95			
白内障、水晶体の疾患／両側手術施行症例	0201103	診療報酬点数〔出来高換算〕	50,992	6,022	40,612	65,565	41,448	43,348	46,373	50,248	55,482	59,290	60,858			
		特定機能病院(25施設)〔出来高換算総点数〕	51,761	6,668	40,612	65,565	41,630	43,719	46,228	52,578	57,320	59,348	60,086			
		その他の参加病院(65施設)〔出来高換算の総点数〕	50,696	5,782	40,651	64,574	41,841	43,696	46,415	49,355	54,438	59,035	61,132			



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数20件以上の施設を解析対象とした。単位は診療報酬点数である。

■：特定機能病院

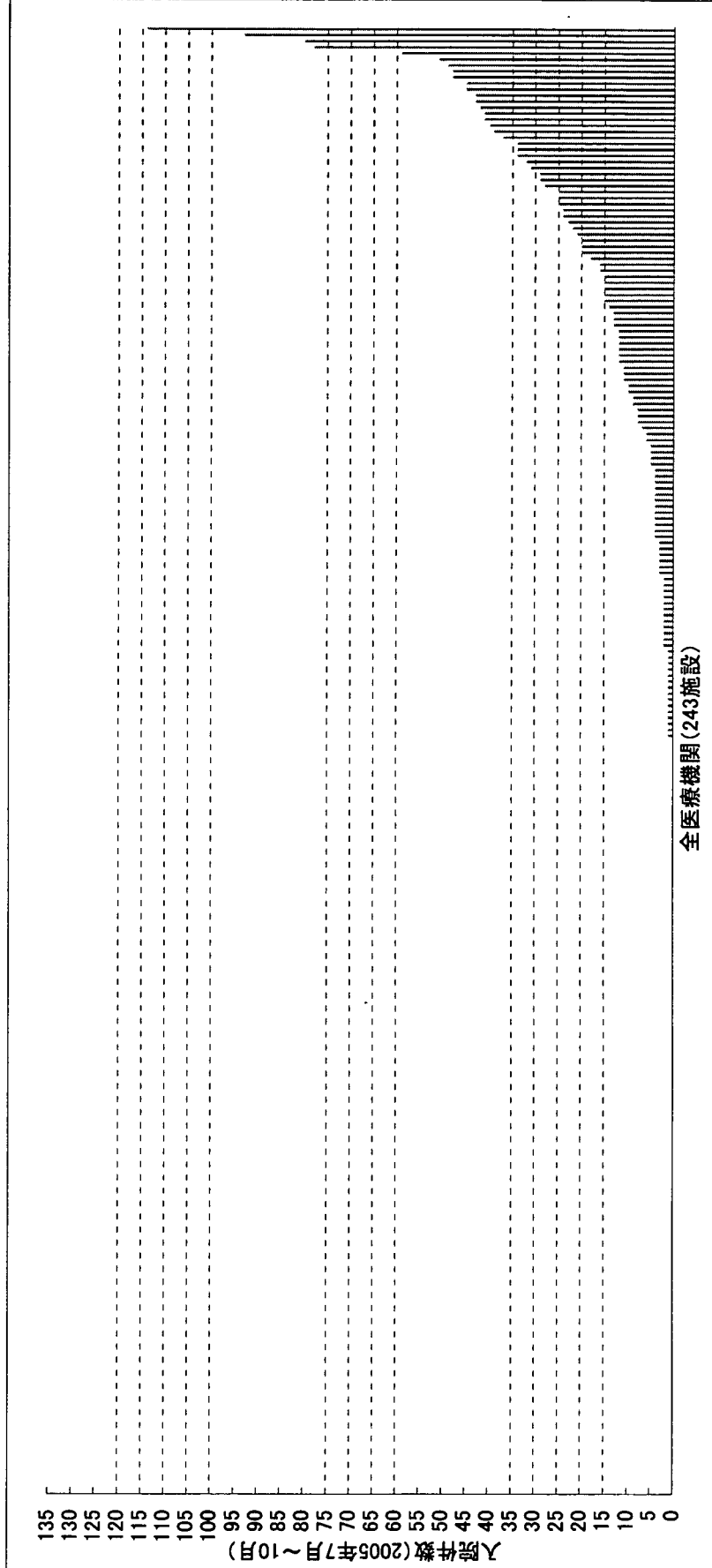
■：その他の参加病院

【コメント】

- ・両側手術施行症例における診療報酬点数〔出来高換算〕は、特定機能病院とその他の参加病院ではあまり差が見られなかった。
- ・診療報酬点数〔出来高換算〕の施設間ごとのバラツキには、在院日数ほどの差が見られなかった。

裂孔原性網膜剥離の入院件数

解析対象DPC番号の範囲		0201703											
分類名	解析内容	入院件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	パーセンタイル						
裂孔原性網膜剥離	入院件数	2,025	8	17	0	114	5	10	25	50	75	90	95
							0	0	0	0	10	29	43



【図の説明】

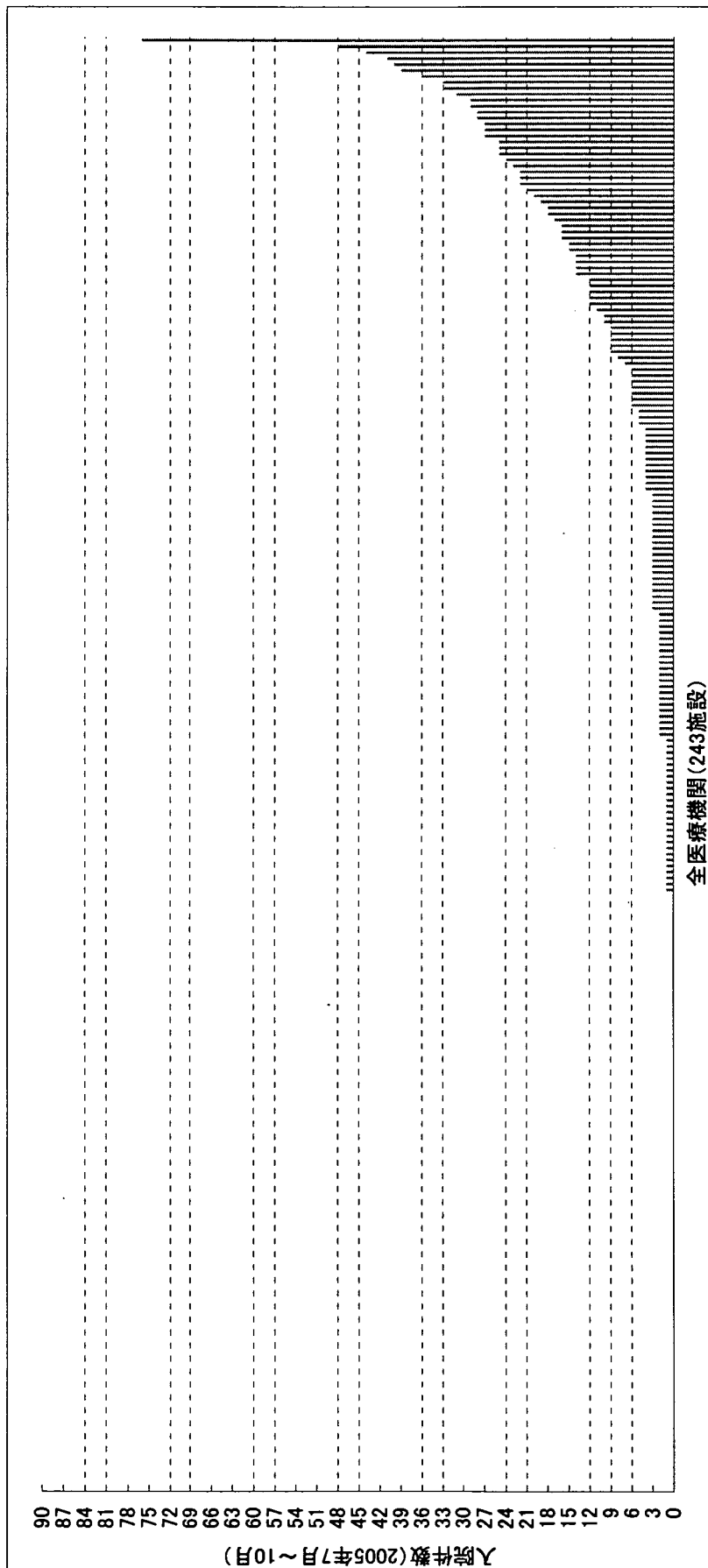
■：裂孔原性網膜剥離の入院件数

【コメント】

- ・入院件数1例以上の医療機関は118施設(全体の49%)において見られた。
- ・裂孔原性網膜剥離の入院件数には大きなバラツキが見られた。

緑内障の入院件数

解析対象DPC番号の範囲		パーセンタイル											
分類名	0202203	入院件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
緑内障		1,431	6	11	0	76	0	0	0	1	6	22	28



【図の説明】

■ : 緑内障の入院件数

【コメント】

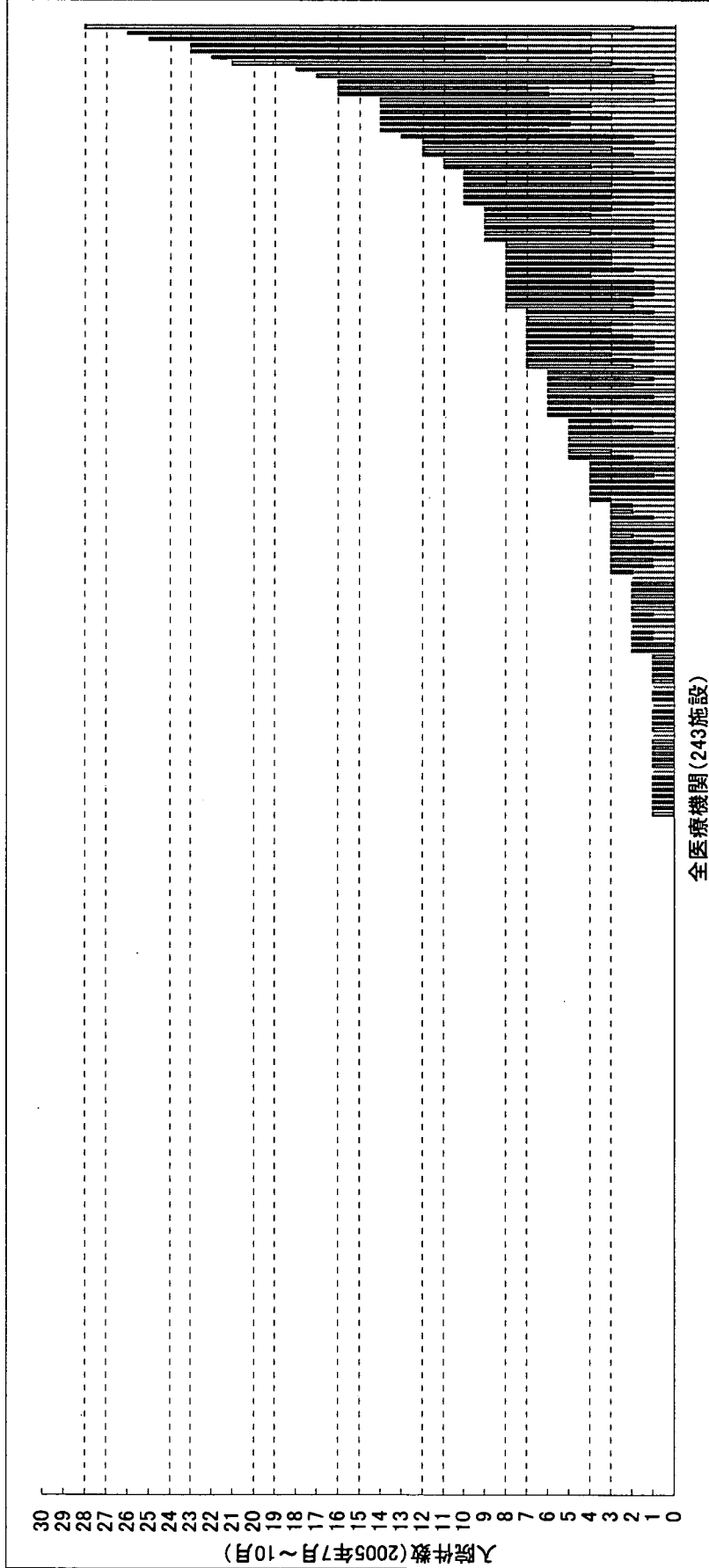
- ・入院件数1例以上の医療機関は143施設(全体の59%)において見られた。
- ・緑内障の入院件数には大きなバラツキが見られた。

MDC03

耳鼻咽喉科系疾患

喉頭の悪性腫瘍の入院件数

分類名	解析対象DPC番号の範囲 0300903										パーセントایل				
	解析内容	入院件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95		
喉頭の悪性腫瘍	全入院件数	878	3.6	5.5	0	28	0	0	0	1	6	10	14		
	その他	674	2.8	4.4	0	26	0	0	0	1	5	9	11		
	頸部郭清術	9	0.0	0.2	0	1	0	0	0	0	0	0	0		
	悪性腫瘍手術	195	0.8	1.6	0	10	0	0	0	0	1	3	4		



【図の説明】

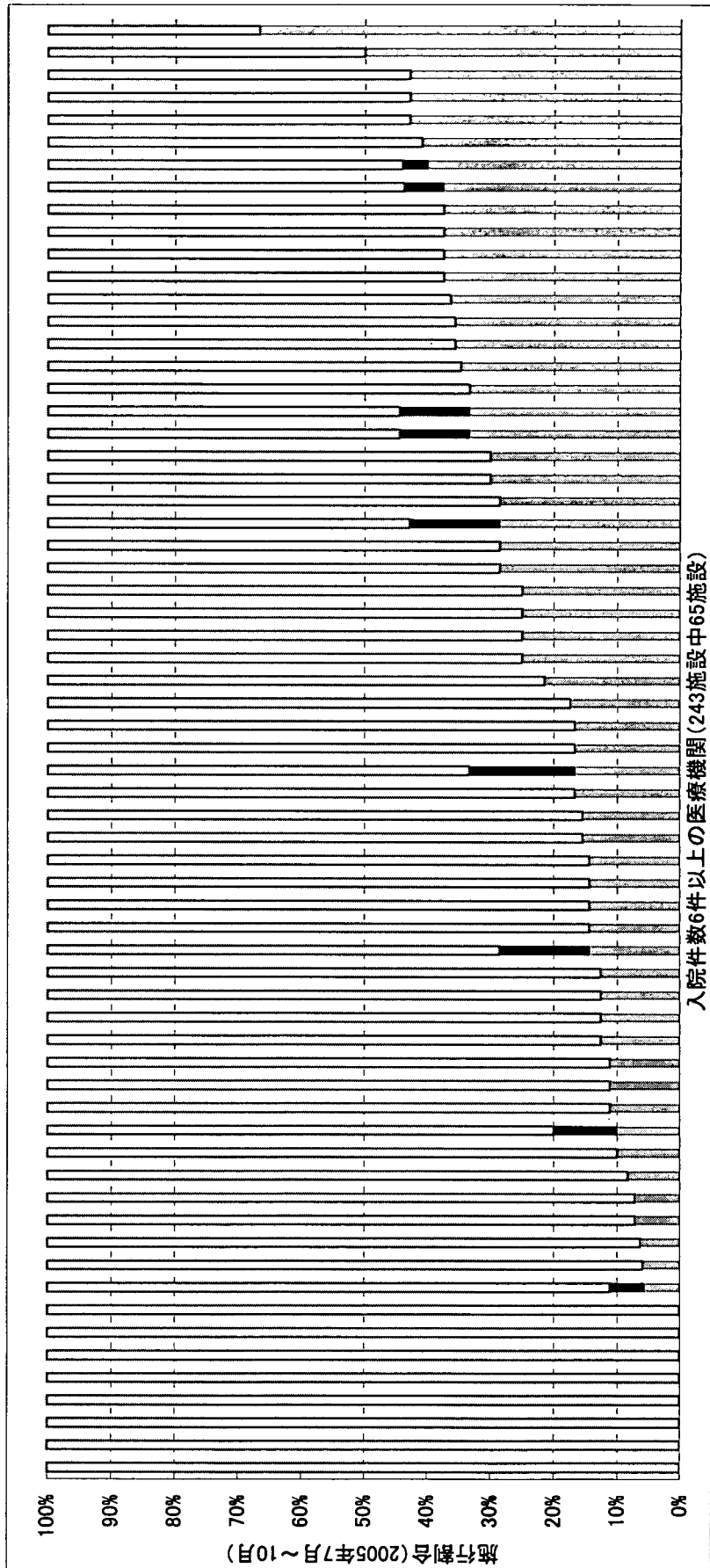
: 悪性腫瘍手術 【DPC手術コード: 01~04】
 : 頸部郭清術 【DPC手術コード: 05】
 : 手術なし、およびその他の手術 【DPC手術コード: 97,99】

【コメント】

- ・症例数1例以上の医療機関は131施設(全体の54%)において見られた。
- ・症例数が多い医療機関は特定機能病院に多く見られた。
- ・喉頭の悪性腫瘍の症例数には医療機関でバラツキが見られた。

喉頭の悪性腫瘍の治療内訳割合 (N = 726)

解析対象DPC番号の範囲		パーセンタイル										
0300903												
分類名	解析内容	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
喉頭の悪性腫瘍	その他	77%	16%	33%	100%	56%	57%	64%	80%	89%	100%	100%
	頸部郭清術	1%	4%	0%	17%	0%	0%	0%	0%	0%	6%	11%
	悪性腫瘍手術	21%	15%	0%	67%	0%	0%	11%	17%	33%	39%	43%



【図の説明】

件数上位25%(6件以上)の施設を解析対象とした。

■: 悪性腫瘍手術

■: 頸部郭清術

□: 手術なし、およびその他の手術

【DPC手術コード:01~04】

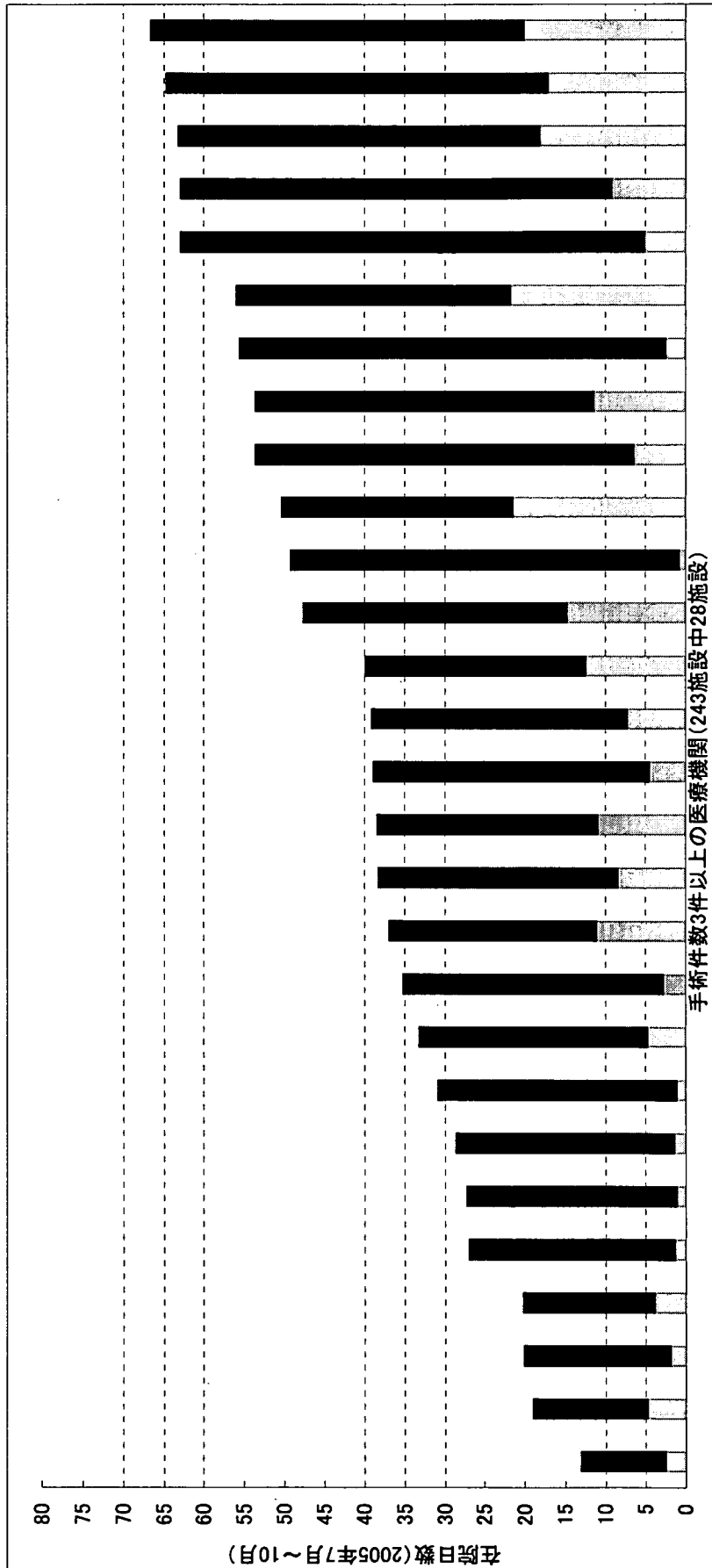
【DPC手術コード:97,99】

【コメント】

・喉頭の悪性腫瘍に対する根治的治療の割合は、医療機関でバラツキが見られたが、全症例の21%でしか施行されていなかった。

喉頭の悪性腫瘍に対し手術を施行した症例における平均在院日数(N = 121)

分類名	解析対象DPC番号の範囲										パーセンタイル				
	0300903x01/0300903x02/0300903x03/0300903x04/0300903x05	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95			
喉頭の悪性腫瘍		41.9	15.5	13.1	66.8	19.4	20.2	30.4	39.1	54.2	63.1	64.3			
在院日数		33.9	12.4	10.7	58.0	15.1	17.8	27.1	31.0	45.7	50.1	53.7			
術後在院日数		8.1	6.7	0.7	21.7	1.0	1.2	2.4	5.7	11.6	18.6	20.9			



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(3件以上)の施設を解析対象とした。

■ : 術前在院日数

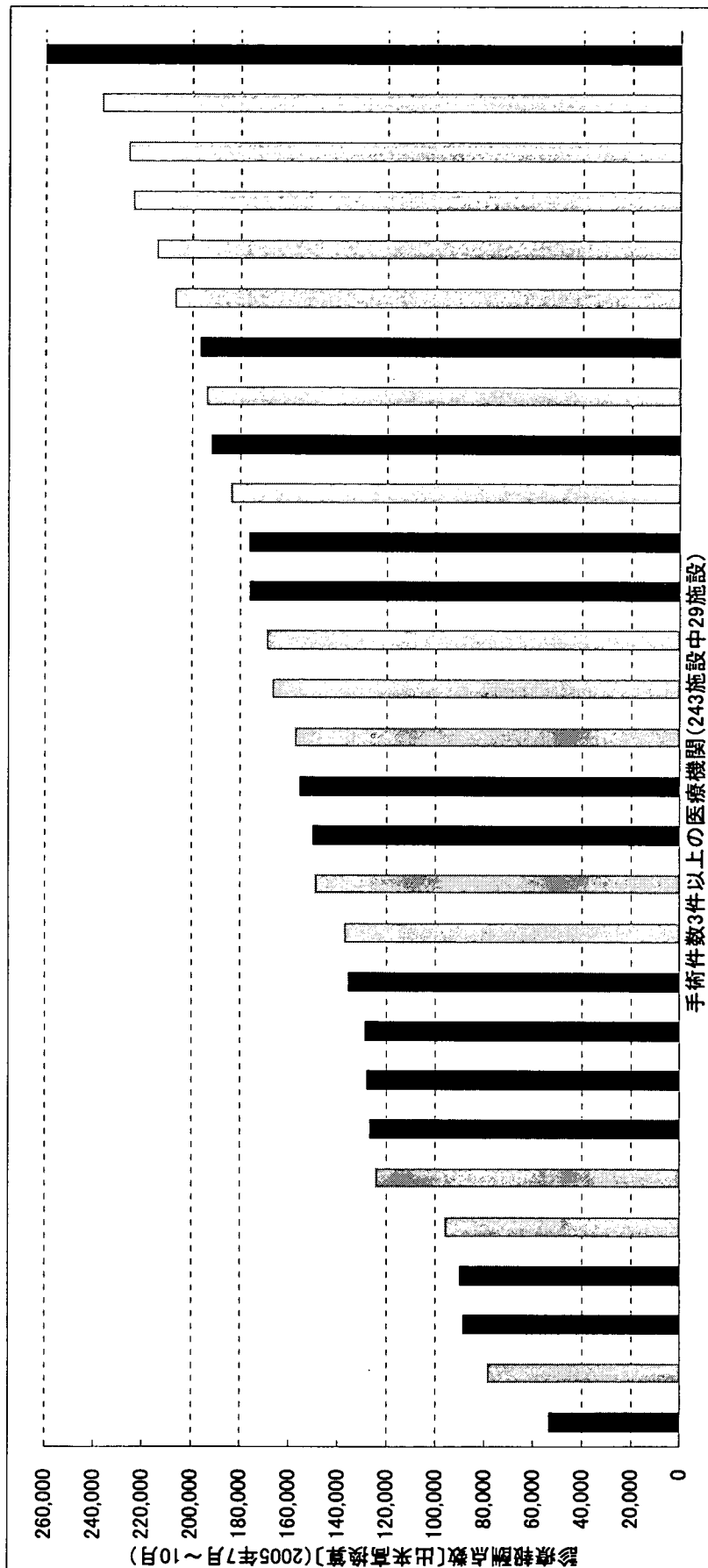
■ : 術後在院日数

【コメント】

- ・喉頭の悪性腫瘍の平均在院日数には、医療機関で5倍近くの差が見られた。
- ・しかし、悪性腫瘍のステージ分類や術式の詳細な情報による調整を行っていないため、このバラツキの解釈には注意が必要である。

喉頭の悪性腫瘍に対し手術を施行した症例における一入院当たり診療報酬点数〔出来高換算〕平均値(N = 124)

分析対象DPC番号の範囲	解析内容	パーセンタイル																		
		平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95								
0300903x01/ 0300903x02/ 0300903x03/ 0300903x04/ 0300903x05	喉頭の悪性腫瘍																			
	診療報酬点数〔出来高換算〕	159,562	50,714	53,603	260,019	82,808	89,992	128,164	157,595	194,086	224,675	232,714								
	特定機能病院(15施設)〔出来高換算総点数〕	171,191	47,965	78,728	237,132	91,038	107,549	143,489	169,494	210,885	225,380	229,400								
	その他の参加病院(14施設)〔出来高換算の総点数〕	147,101	52,332	53,603	260,019	76,564	89,327	127,119	142,975	176,349	195,239	218,832								



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(3件以上)の施設を解析対象とした。単位は診療報酬点数である。

■: 特定機能病院

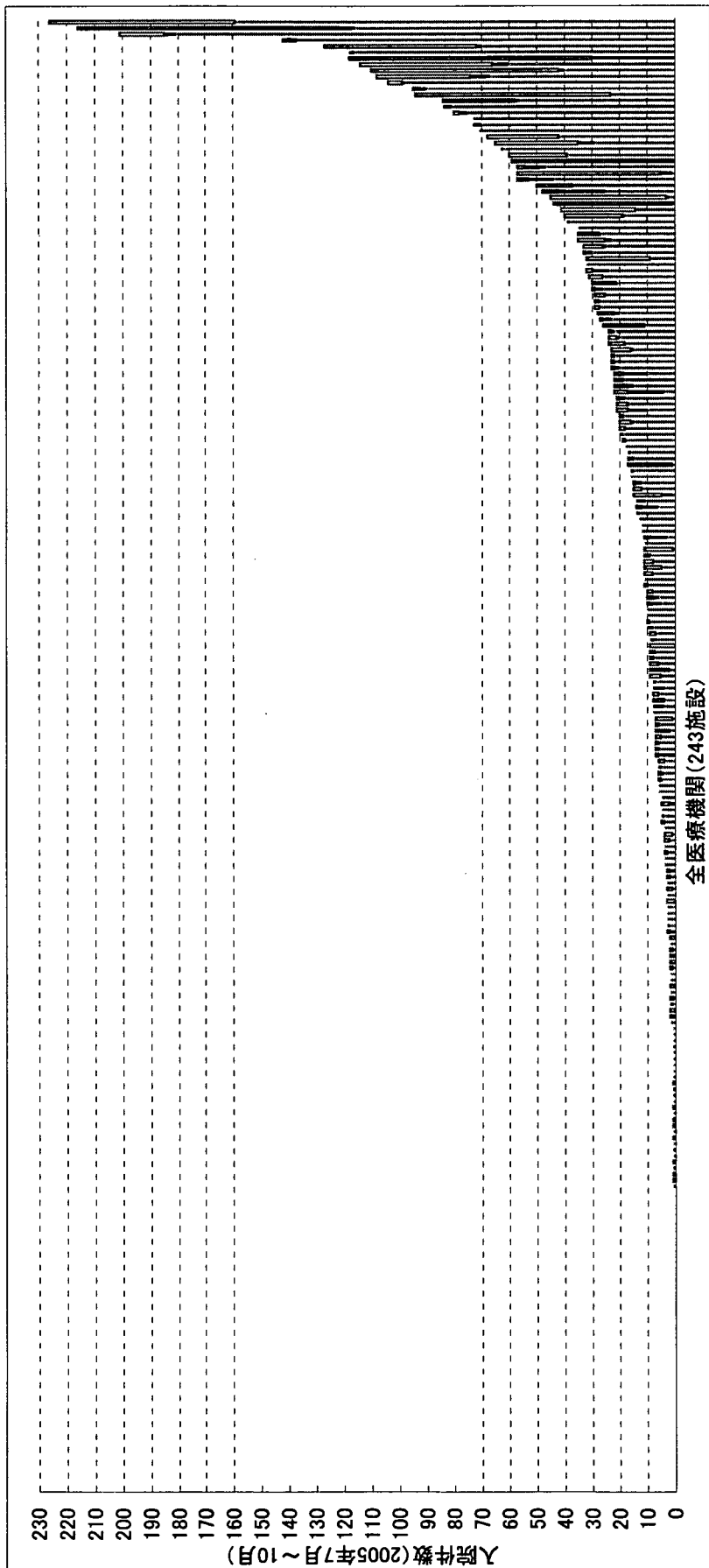
■: その他の参加病院

【コメント】

- ・診療報酬点数〔出来高換算〕(一入院当たり)と手術割合に相関は見られなかった。
- ・しかし、悪性腫瘍のステージ分類や術式の詳細な情報による調整を行っていないため、このバラツキの解釈には注意が必要である。

睡眠時無呼吸症候群(検査入院+その他の入院)の入院件数

分類名	解析内容	パーセンタイル											
		入院件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
睡眠時無呼吸症候群(検査入院+その他の入院)	入院件数	4,713	19.4	34.5	0	226	0	0	1	7	22	57	93
	手術なし件数	1,240	5.1	14.0	0	94	0	0	0	1	3	10	30
	手術あり件数	247	1.0	2.8	0	30	0	0	0	0	1	3	6
	検査入院件数	3,226	15.1	27.0	0	181	0	0	1	5	18	39	70



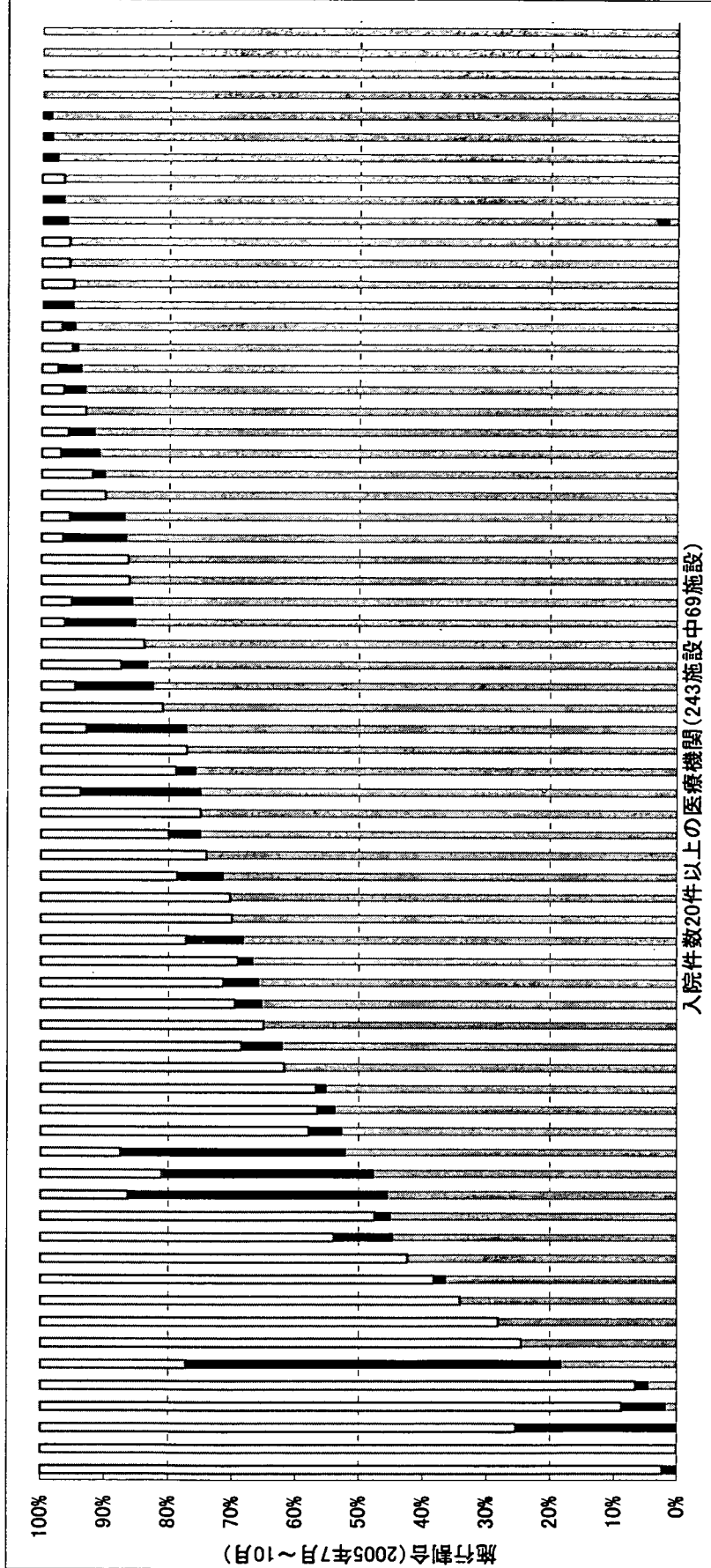
【図の説明】

【コメント】

- ・睡眠時無呼吸症候群の症例数は、MDC03の全症例数の約14%を占めていた。
- ・睡眠時無呼吸症候群の症例数1例以上の医療機関は193施設(全体の79%)において見られた。
- ・入院件数が多い医療機関は、特定機能病院に多く見られた。

睡眠時無呼吸症候群(検査入院+その他の入院)の治療内訳割合 (N = 3,952)

分類名	解析対象DPC番号の範囲		パーセントイル										
	0302501および0302503	解析内容	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
睡眠時無呼吸症候群(検査入院+その他の入院)		手術なし件数	24%	27%	0%	100%	0%	0%	4%	14%	31%	67%	85%
		手術あり件数	6%	11%	0%	59%	0%	0%	0%	2%	6%	13%	30%
		検査入院件数	70%	28%	0%	100%	3%	27%	54%	77%	93%	97%	99%



【図の説明】

件数20件以上の施設を解析対象とした。

■: 検査入院

□: 手術なし

■: 手術あり

【DPC:0302503、DPC手術コード:01,02,96】

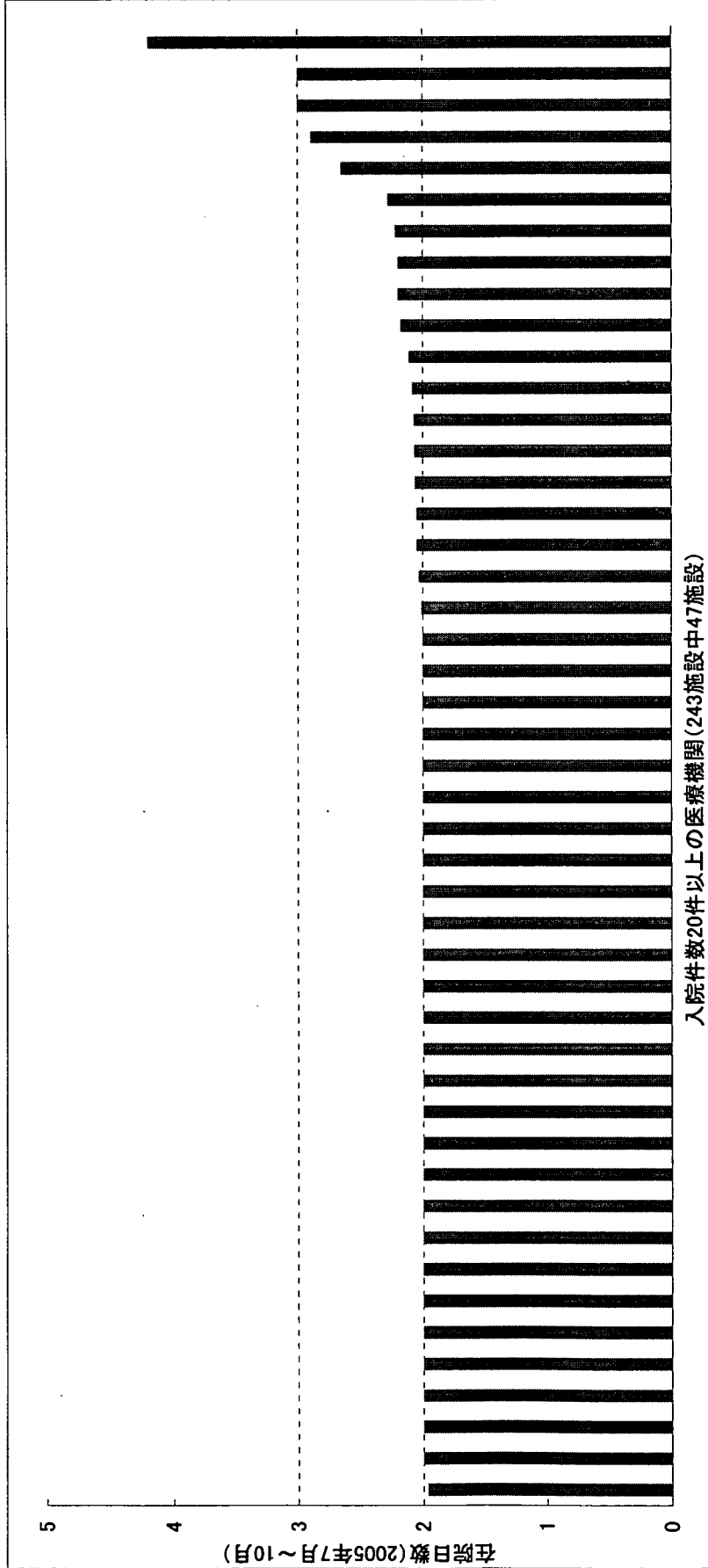
【DPC:0302503、DPC手術コード:97,99】

【コメント】

・全体的に、検査または手術なしの症例がほとんどであった。

睡眠時無呼吸症候群(検査入院)における平均在院日数(N = 2,443)

解析対象DPC番号の範囲		ハーセнтаイル										
分類名	解析内容	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
睡眠時無呼吸症候群(検査入院+その他の入院)	在院日数	2.2	0.4	2.0	4.2	2.0	2.0	2.0	2.0	2.1	2.4	3.0



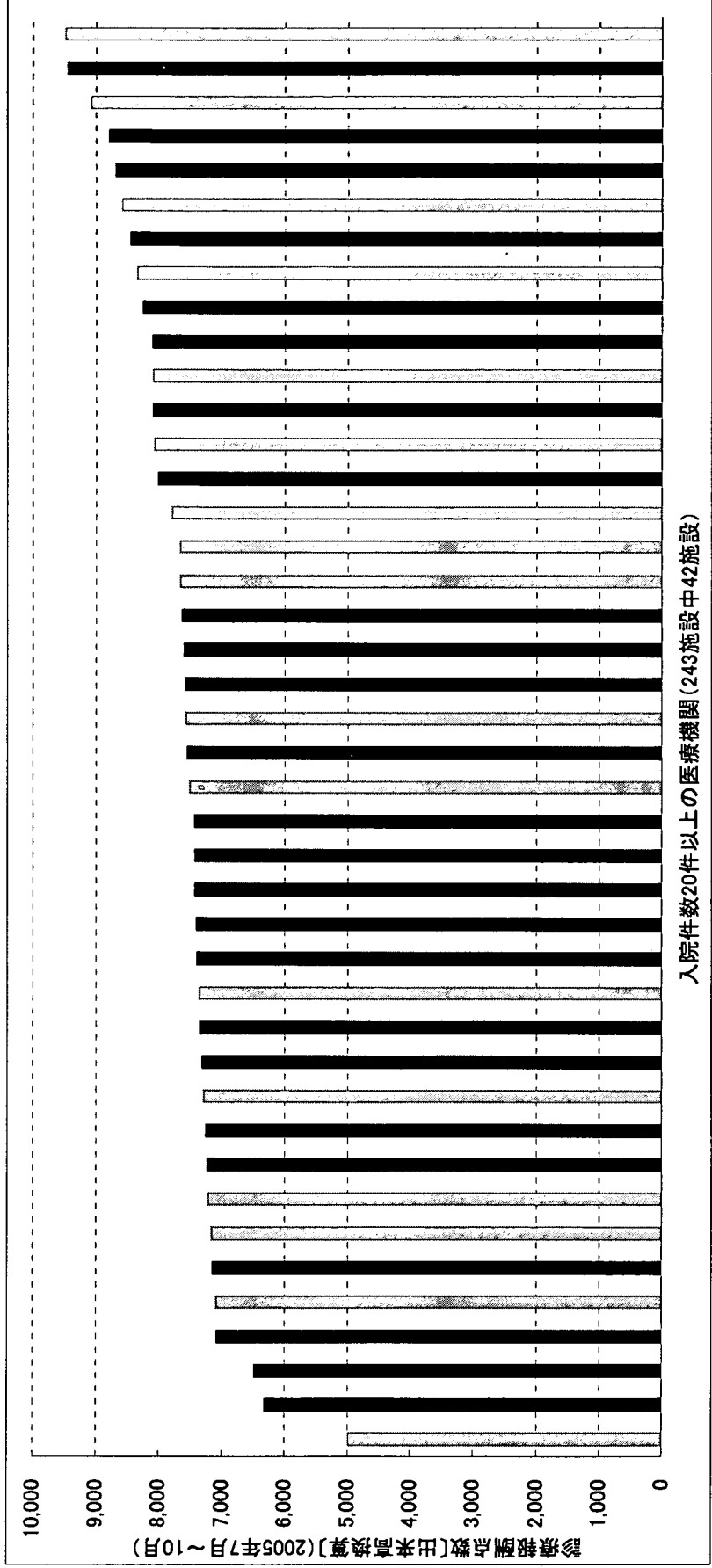
【図の説明】
 件数20件以上の施設を解析対象とした。なお、本解析においては、下位2.5%値が2日、上位2.5%値が3日であったため、外れ値を除外しなかった。
 ■ : 平均在院日数

【コメント】

・睡眠時無呼吸症候群(検査入院)の平均在院日数はほとんど均一であった。

睡眠時無呼吸症候群(検査入院)における一入院当たり診療報酬点数〔出来高換算〕平均値(N = 2,272)

分類名	解析内容	平均値	標準偏差	最小値	最大値	パーセンタイル									
						5	10	25	50	75	90	95			
睡眠時無呼吸症候群(検査入院+その他の入院)	診療報酬点数〔出来高換算〕	7,691	809	5,003	9,499	6,526	7,111	7,312	7,579	8,109	8,690	9,066			
	特定機能病院(17施設)〔出来高換算総点数〕	7,720	972	5,003	9,499	6,685	7,153	7,309	7,682	8,109	8,787	9,164			
	その他の参加病院(25施設)〔出来高換算の総点数〕	7,672	698	6,327	9,458	6,616	7,118	7,321	7,448	8,108	8,607	8,777			

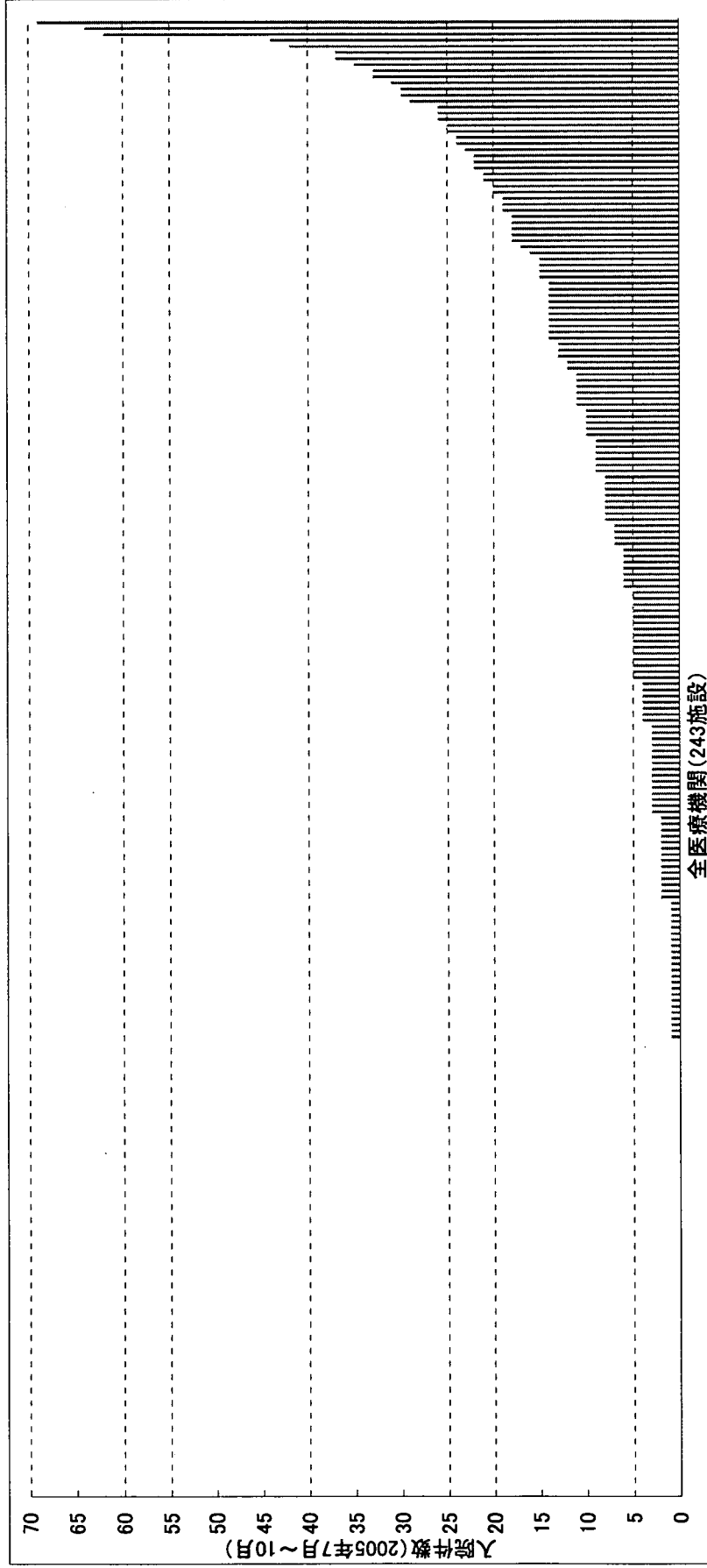


【図の説明】
 外れ値面側5%を除外し、件数20件以上の施設を解析対象とした。単位は診療報酬点数である。
 ■: 特定機能病院
 ■: その他の参加病院

【コメント】
 ・睡眠時無呼吸症候群の診療報酬点数〔出来高換算〕(一入院当たり)は、医療機関でバラツキが見られた。
 ・在院日数のバラツキの無さと比較して、診療報酬(出来高)には、施設ごとに大きなバラツキが見られた。

慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫の入院件数

解析対象DPC番号の範囲		パーセンタイル											
分類名	解析内容	入院件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫	入院件数	1,869	7.7	11.2	0	69	0	0	0	3	11	22	30



【図の説明】

■：慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫の入院件数

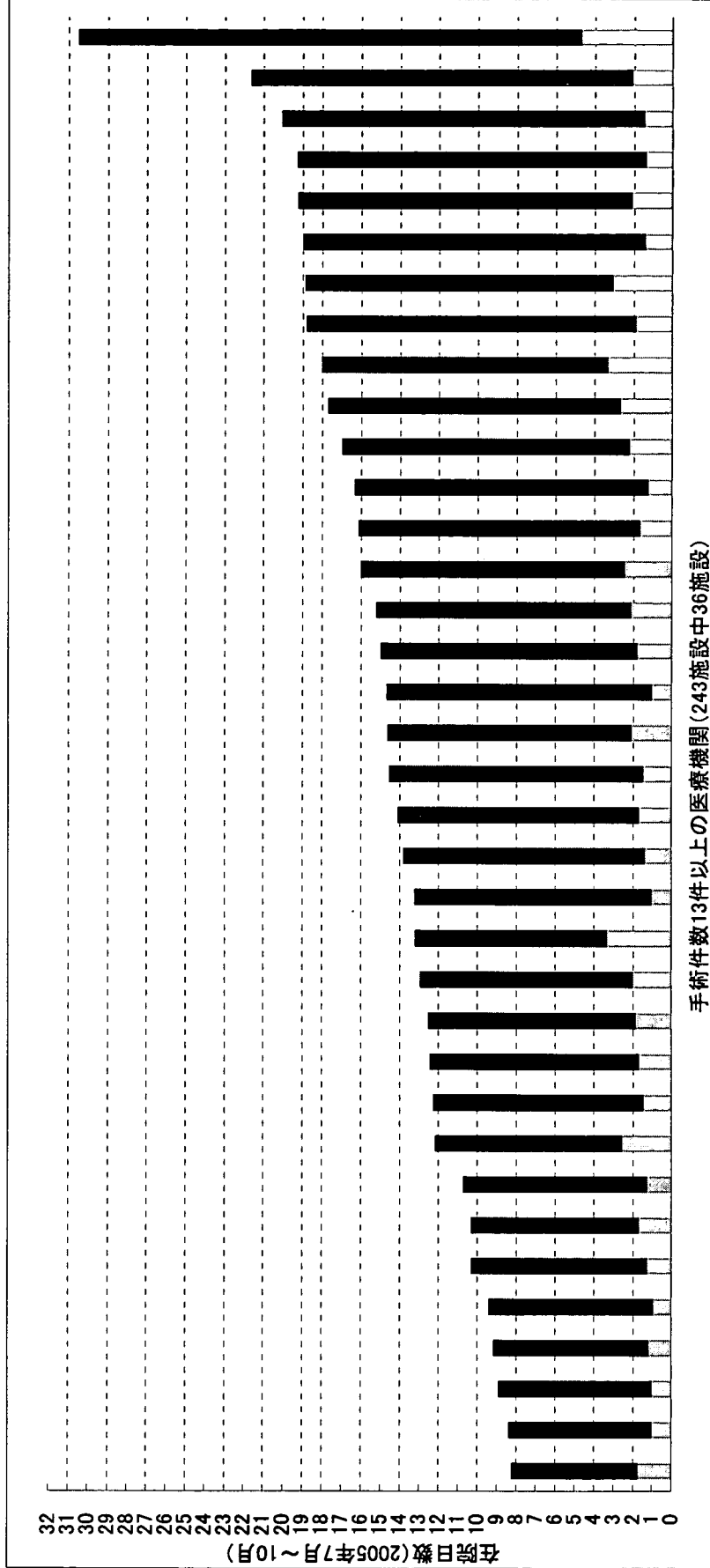
全医療機関(243施設)

【コメント】

- 慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫の症例数1件以上の医療機関は168施設(全体の69%)において見られた。
- 入院件数が多い医療機関は、特定機能病院に多く見られた。
- 慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫の入院件数には、医療機関でバラツキが見られた。

慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫に対し、手術を施行した症例における平均在院日数(N = 904)

分類名	解析対象DPC番号の範囲	解析内容	パーセンタイル										
			平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫	0304403x01/ 0304403x02	在院日数	14.9	4.5	8.3	30.5	8.8	9.3	12.2	14.6	17.8	19.3	20.5
		術後在院日数	13.0	4.1	6.5	25.8	7.8	8.3	9.8	12.8	15.1	17.8	18.9
		術前在院日数	1.9	0.8	0.9	4.7	1.0	1.0	1.3	1.7	2.1	2.9	3.3



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数13件以上の施設を解析対象とした。

□ : 術前在院日数

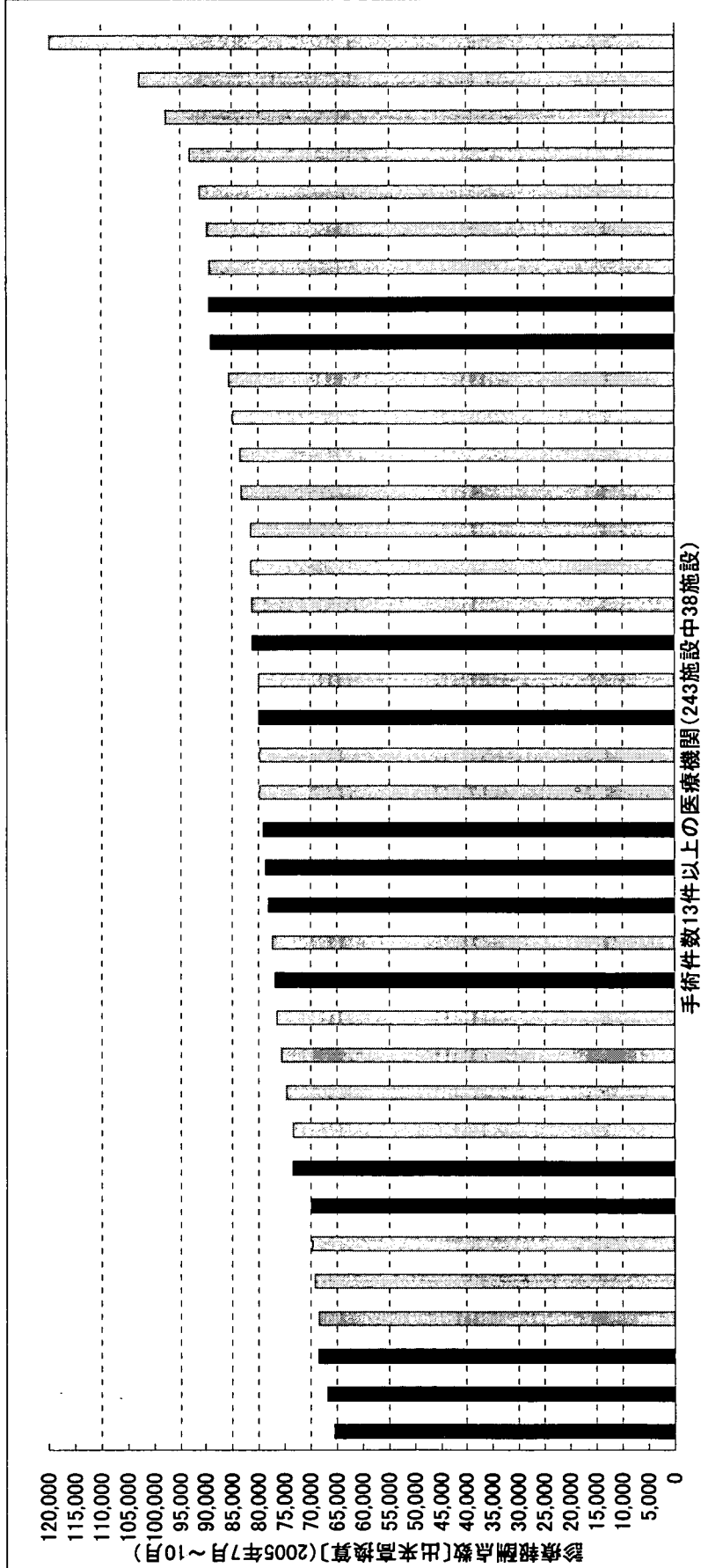
■ : 術後在院日数

【コメント】

- ・平均術後在院日数において、医療機関でバラツキが見られた。
- ・手術には、鼓膜形成手術と鼓室形成手術が含まれる。
- ・外れ値下位2.5%未満に20件が相当したが、そのうち3件が1施設で占められていた。

慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫に対し、手術を施行した症例における一入院当たり診療報酬点数〔出来高換算〕平均値 (N = 924)

解析対象DPC番号の範囲	0304403	解析内容	パーセンタイル										
			平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
分類名		慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫	81,314	10,710	65,549	119,896	68,280	69,172	75,025	79,965	85,493	91,858	98,677
		診療報酬点数〔出来高換算〕	83,711	11,404	68,658	119,896	69,476	71,307	76,607	81,573	89,497	96,027	101,908
		特定機能病院(25施設)〔出来高換算総点数〕	76,704	7,651	65,549	89,407	66,352	67,215	69,962	78,160	80,005	87,543	89,227
		その他の参加病院(13施設)〔出来高換算の総点数〕											



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(13件以上)の施設を解析対象とした。単位は診療報酬点数である。

■: 特定機能病院

▨: その他の参加病院

【コメント】

- 慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫の診療報酬点数〔出来高換算〕(一入院当たり)は、医療機関でバラツキが見られた。
- 手術には、鼓膜形成手術と鼓室形成手術が含まれる。